

みんなのひろば



▲里山の暮らしや年中行事を学び、再発見しようで行われた、里山体験講座「月見だんごと十五夜飾り」。センター周辺で秋に咲いている花の観察や、お供え物のだんご作りを体験しました。
9月11日(日)／狭山丘陵いきものふれあいの里センター
(撮影：市民カメラマン・木村清貴)



▲会場も含め既成の枠組みにとらわれず、作家手作りで開催された「所沢ビエンナーレ美術展2011・引込線」。若手からベテランの作品やパフォーマンスが刺激的な空間を創り出していました。
8月27日(土)～9月18日(日)
／生涯学習推進センター・旧第2学校給食センター
(撮影：市民カメラマン・谷 亮)



▲市内10分団が参加して行われた「所沢市消防団ポンプ車操法大会」。各団員の操作の確実性と安全性、火に見立てた的を倒すまでの所要時間などの審査が行われました。
9月11日(日)／中央消防署西分署
(撮影：市民カメラマン・松崎 満)



◀折り紙ヒコキで27.9秒の室内滞空時間競技ギネス記録保持者である戸田拓夫さん（日本折り紙ヒコキ協会会長）を招いて行われた所沢航空発祥100周年記念事業「2011折り紙ヒコキ大会ギネスに挑戦!!」。一般男子の部では、18.37秒の記録が出ました。
8月30日(木)／市民体育館
(撮影：市民カメラマン・塩野入好文)



おうちで食べよう! 所沢の学校給食

6 里芋コロッケ

栄養士さんが考えた学校給食のメニューの中から、所沢産の食材を取り入れたものや、特色あるレシピを紹介しします。



◆今回の献立
里芋コロッケ★
白菜の即席揚げ

★里芋コロッケ

- 材料(4人分)
- ・里芋……………5個(250g)
 - ・玉ねぎ…………小1/4個
 - ・ごぼう…………5cm
 - ・サラダ油…………大さじ1/2
 - ・鶏ひき肉…………100g
 - ・塩…………少々
 - ・こしょう…………少々
 - ・しょうゆ…………小さじ1
 - ・砂糖…………小さじ1
 - ・小麦粉…………大さじ1/2
 - ・小麦粉…………大さじ4
 - ・卵……………1個
 - ・水……………大さじ3
 - ・パン粉…………2カップ(100g)
 - ・揚げ油

作り方

- ①里芋は、ゆでて柔らかくなったら水を切り、水けを飛ばしながらつぶす。
- ②玉ねぎ、ごぼうをみじん切りにする。
- ③フライパンに、サラダ油を熱し、鶏ひき肉を入れて炒め、肉の色が変わったら、塩、こしょうをする。さらに玉ねぎ、ごぼうを加えて、よく炒め合わせ、しょうゆ、砂糖で調味し、小麦粉(大さじ1/2)を振り入れて固めておく。
- ④①と③をよく混ぜ、小判型に成形し、小麦粉を軽くまぶす。
- ⑤卵を割りほぐし水を加えて混ぜ、小麦粉(大さじ4)を入れて衣を作る。
- ⑥④を⑤の衣、パン粉の順につけ、170～180℃に熱した揚げ油で色よく揚げ、油をきる。

ここがポイント 親芋で作ってもおいしい

所沢産の里芋は、県内で作付面積、収穫量ともに第1位です。また、料亭などの高級料理店でも使われるくらい、全国的にも評判がよく「黒いダイヤ」と呼ばれています。里芋コロッケには、普段捨てられてしまう親芋で作ってもおいしく出来ます。ぜひお試しください。
問い合わせ 保健給食課 ☎2998-9249 ☎2998-9167

はっぴっ 野老っ子



「日本の航空発祥100周年・所沢」を記念して、市内在住の作家高橋玄洋さん原作によるミュージカル『とべこロボの卵さわやかに』が11月20日に上演されます(本号12頁参照)。このミュージカルは、宇宙飛行士を目指す女の子が、勉強もままならず、恋にも破れ、挫折しかかっていたとき、所沢の歴史を見つめ続けて来た地蔵と時空を越え、所沢の航空発祥をたどりながら徐々に立ち直っていく物語です。今回は、主演の安藤杏璃役を務める西歩美さんをご紹介します。西さんが、ミュージカルを始めたのは小学校4年生のとき「学校で配られたミュージカル出演者募集のチラシに白雪姫のイラストが描いてあったので、こびと役がやりたいと思い参加しました。しかし、実際に上演したのは違う物語で、もちろんこびと役なんてありませんでした」と西さんは当時を思い出して苦笑いします。小学校から高校まで子どもミュージカル劇団に所属。高校時代には、全国大会で優勝する強豪校のチアダンス部にも所属しました。夏の間は、ミュージカルが優先で、どうしても部活を休むことが多く「部活で皆においていかれるのが嫌でした。しかし、両方とも好きで始めたので、ミュージカルの練習後は、毎日自宅でチアダンスの練習や筋力

始めの1歩を踏み出す勇気を与えたい

所沢航空発祥100周年記念ミュージカル主演 西 歩美さん(花園在住)

トレーニングをしていました」と何事にも全力で取り組む西さんです。今回、杏璃役を射止めて「今までは、背が高いので男性役や、ちょっと変わった役が多かったです。主役や普通の女の子役を演じたことが少なかったの、ドキドキしています」。演出の先生からは「落ち込むところや、投げ出すところは杏璃に似ているけど演じているときの集中力は凄いです。安心して見ていられる」と評価された西さんは「私より杏璃の方が、まじめ」と照れながら話します。生まれも育ちも所沢の西さんですが、出演が決まるまで所沢航空記念公園がかつては飛行場だったことを知りませんでした。「このミュージカルで、日本で初めての飛行場が所沢に開設されたことや、所沢の100年間の歴史を知ることができました。それを私と同じ若い人たちに伝えたい」として「人々の愛と勇気をもって、挫折から徐々に立ち直っていく杏璃を見れば、悩んで立ち止まっている人は、始めの1歩を踏み出せ、励みになるはず。ぜひ見てもらいたい」とミュージカルへの思いを語ります。



▲公演に向けて練習に励む西さん

節電の夏

北有楽町 荻野 幸雄

東京電力㈱の「電気ご使用量のお知らせ」の用紙には「昨年8月分は31日間で4.04kWhです。今月分は昨年と比べ24%減少しています。」と印刷されています。昨年は東北から孫たちが遊びに来て半月ほど過ごしており、暑かったため、エアコンをずっと使用していませんでした。孫たちが遊びに来ない今年の夏は、節電に取り組む、電気ポットは使わず、夜間トイレに行く際、夜間の電気は消し、元灯だけ照らすLED電球に取り替えるなどして、8月分の電気使用量を3.06kWhに減少させることができました。

誰でもエッセイ

テーマ「節電の夏」

うちわで冷風扇

山口 満子

3月11日の東日本大震災以来、がまんを強いられる生活がやってきました。普段の暮らしが、どれ程ありがたいかを思い知らされました。私が幼いころの我が家は、夕方になれば庭に打ち水をし、夜は蚊帳の中で、ゴロゴロしながらうちわをあおぎ、開け放しの窓からの冷風でこころよく寝たものでした。夏の暑さに強い私は、クーラーより扇風機を使っていました。熱中症が取りざたされてからは、30℃以上になるとクーラーをつけます。設定温度は28℃か29℃。それでも涼しく感じます。日中は、もっぱらうちわで過ごし、最後にコンセントを抜

ところざわ 歴史まめ知識

所沢市域にかかわる歴史的事項を50音順に紹介しています。今号は「た」です。

た 台徳院霊廟 台徳院とは徳川二代将軍秀忠の法名で、霊廟とは墓所のことです。もともとは港区増上寺にあった霊廟から、戦後3つの門が市内上山口(現在の狭山不動尊境内)に移築されました。「旧台徳院霊廟勅額門、丁字門および御成門」は、日光東照宮とも共通する江戸初期の華やかな霊廟建築を伝えるものとして、国の重要文化財に指定されています。勅額門は後水尾天皇筆の額(勅額)を戴くことから、また御成門は将軍の来訪(御成)時に用いられた門です。丁字門は、台徳院の霊廟と、その夫人崇源院(いわゆる「お江の方」)の霊廟を結んでいた門でした。

た 瀧の城 柳瀬川を見下ろす台地の縁に築造された戦国時代の城跡で、大字城の地名の由来ともなりました。1400年代後半に築かれたこの城は、のちに関東の覇権を握った北条氏の支配を受け、天正18年(1590)、豊臣秀吉の北条攻めの際に敗れて廃城となります。現在城山神社が鎮座する場所が城の中心で、その周囲を二の廓、三の廓が同心円状に囲み、北側の台地には北条氏が追加した外郭が張り出しています。生涯学習推進センター常設展示室には、瀧の城跡保存会が制作した城の模型が展示されています。

た 大六天 交通量の多い国道463号線の交差点の名として知られ、もともとは大字山口の小学の名に、さらには現在も上新井三丁目住宅の間にひっそりと立つ「大六天」と刻まれた石柱に由来します。大六天とは、仏教が説く第六天魔王とも、神話上の天神6代面足彦尊を指すとも言われる一方で、雷や暴風など天災除けの神という説もあります。作物をなぎ倒す風や雹など、気象災害は現代以上に深刻なものでした。



▲大六天の石柱(昭和42年撮影)

◎生涯学習推進センター(3階)では「まめ知識」にちなんだミニ展示を実施しています。10月は「台徳院霊廟」です
問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究グループ ☎2991-0308 ☎2991-0309